

うのすまい
鶴住居保育園のその時・その後

- 沿革** 昭和 60 年 4 月 社会福祉法人釜石愛育会の認可保育園として設立。
 (中妻子供の家保育園、小佐野保育園も同法人運営)
- 平成 14 年 4 月 老朽化により同町内に移転改築。(60 名定員)
 子育て支援センター併設。一時保育開始。606.16m²
- 平成 23 年 3 月 11 日 (在籍園児 87 名 職員 24 名)
 14 時 46 分 在園児者 園児 73 名 職員 21 名
 一時保育 1 名 センター 3 組 9 名



← 旧園舎 ↑
 フェンス

その後の行動 揺れてる最中は、落下物からの安全体制をとる。
 揺れがおさまりかけたところに高台の指定の避難場所に避難。(迎えに来た保護者には園児を引き渡す)
 遠くに波が見えたので更に高台(恋の峠・仲野石材店に)に避難する。避難児、利用者、職員は全員無事。

16:30 市の指示により避難所に移動。(釜石小学校 31 名、職員 12 名。旧釜石一中 5 名、職員 9 名) 園児合計 36 名。

3 月 14 日 午前 すべての園児を引き渡す。

3 月 24 日 同法人の 2 園にて保育開始。(当園の園児委託)

4 月 13 日 被災園舎より 6Km 程内陸の市の集会所を借りて保育再開。



園舎、構築物他すべて流出。



仮保育園 さんあいセンター

平成 23 年 6 月 再建に向けて始動。(法人の取組)
平成 24 年 9 月 災害査定を受ける。
11 月 工事着工。
平成 25 年 6 月 園舎落成 855.46m²
6 月 17 日 新園舎にて保育開始。園児 53 名 職員 16 名
7 月 1 日 鶺住居保育園子育て支援センター再開。
11 月 現在 園児 60 名 職員 18 名

そして、今・・・子ども達は、明るい、広い園舎を元気に走り回っています！



新園舎 前景



保育室で



災害時を考慮しての広い玄関・廊下



園庭 大型遊具

皆様のご支援により、園児も、保育者も元気に過ごすことが出来ました。
そして、安全に重点を置いた素晴らしい園舎も再建させていただきました。
心より感謝、感謝です。 『ありがとうございました』

平成 25 年 11 月 8 日

岩手県釜石市鶺住居町 3-10 ☎0193(28)2510

鶺住居保育園 園児・職員一同